

第11回 あいねっと推進フォーラム

みんなではぐくむ元気な鶴見



～こどもを育てる地域の目
こどもとつながる地域の輪～

「鶴見・あいねっと」推進とあいねっと活動の
一年間の取組を紹介します

- 《内容》 **第1部 社会福祉功労者感謝会**
第2部 事例紹介・イベント(鶴見総合高校和太鼓部・生麦囃子保存会)
- 《日時》平成27年2月28日(土) 13:30～16:00 (13:00開場)
- 《会場》鶴見公会堂(豊岡町2-1 フーガI 6階)



鶴見・あいねっと

申込不要 直接会場へお越しください

【同時開催】 ● 鶴っこ製品展示 (障害児者施設等の手作り製品) ● あいねっと&ボランティアコーナー

リハビリテーションスポーツクラブ 「ここにこ会」

脳卒中の中途障がい者だけでなく、あらゆる障がいのある方を対象に、ローリングバレーやポッチャ・グランドゴルフなどに取り組んでいます。社会(職場)復帰を最大の目的として、月3回以上活動しています。健常者でやる気のある方も大歓迎!!

【活動日】毎週木曜日(第3週は除く) 13:00～15:00

【場所】主に鶴見スポーツセンター

【会費】月600円

(体験は無料ですのでぜひ体験から始めてください)

【問合せ】岩崎(☎090-9101-8597)

岡村(☎080-5532-7778)



フレンドの会「手話入門講座」参加者募集

【日時】3月5日(木)～4月23日(木)

毎週木曜全8回

10:30～12:00 (初回10:00受付)

【会場】鶴見中央地域ケアプラザ

【参加費】1,000円(テキスト代200円別)

【定員】15名(先着順)

【申込み】鈴木(☎090-7417-9631)



ひよこ会 保育ボランティア募集

少し発達に不安のある子どもたちと遊んでいただける方を募集します。少額の謝礼があります。

【活動日】主に毎週月曜日、水曜日 10:00～13:30

【場所】鶴見区地域活動ホームもとみや

【問合せ】山下(☎045-571-2709)

鶴見区社協より <http://www.yturumi-shakyo.jp/>

「表紙クイズ」& 愛読者アンケート QUOカードをプレゼント!

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください。応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答②郵便番号・住所・氏名・電話・性別・年齢③福祉つるみを手に入れた場所④ご意見・ご感想を記入の上、3月31日(必着)までに鶴見区社協「アンケート係」へ。当選は賞品の発送をもって代えさせていただきます。前号の正解は①鶴見消防署、応募者数は41名でした。区社協ホームページにクイズのヒントがあります。ぜひアクセスを。



〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1UNEXビル5F

鶴見区社会福祉協議会

(☎504-5619 ☎504-5616 Eメール:info@yturumi-shakyo.jp)

編集委員 / 河西彦彦、中村啓子、蔵本美佐子、氏家美紀、内藤恵子

福祉 つるみ 77

点字・録音版も!

【第77号】2015年2月1日発行 / 編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616

特集



表紙クイズ **ここは鶴見のどこの空?** 応募方法はウラ表紙をご覧ください

①鶴見警察署 ②鶴見区休日急患診療所 ③鶴見土木事務所

企業では...

高齢者疑似体験のセットを借り、職場で福祉体験を行いたいとの声が多くあります。また、地域ケアプラザの職員が企画を練り、銀行などで認知症サポーター講座を実践しています。

学校では...

小中・高校の計11校から福祉教育の相談・依頼を受けました。車いす体験や手話講座、視覚障害者の誘導や点字体験、障害のある人の講話(小・中学校)、障害を抱える家族の話(高校)を聞きました。保育園からも手話を学びたいとの依頼がありました。

特集 企業、学校が福祉教育に取り組む

いつでも安心して
利用していただくために

JR東日本 (東日本旅客鉄道株式会社) 鶴見駅

1日に約15万人が利用するJR鶴見駅。いつも変わることなく、安心して利用できる「いい駅」をめざして「お客さまのために体を動かそう」を職場のモットーに掲げ、白杖をお持ちのお客さま、車いすをご利用のお客さま、切符の購入などお困りのお客さまを見かけると、すすんで声をかけるサポートをしています。



駅利用者へのサービス全般を担当する、駅員の山田友世さんと助役の坂巻 誠さん

取り組んでいること

- 認知症サポーター養成講座の受講
- 高齢者疑似体験
- 車いす介助 (新人社員研修でも実施)
- サービス介助士※の取得

※公益財団法人日本ケアフィット共育機構が認定する民間資格。障害の理解と障害のある人への接し方などを学び、検定試験を受けて取得します。2000年から始まり企業、福祉系の学校を中心に導入が進んでいます。

2年前、認知症サポーター養成講座を受けた山田友世さんは「(講座の中の)寸劇を見て認知症への理解が一歩進み、症状が見受けられるお客様への接し方に気を遣うようになりました」と言います。今年1月にも4日間にわたって養成講座を開き、駅に勤務する45人全員が受講しました。



認知症サポーター養成講座の様子



1年生の福祉体験の様子

取り組んでいること

全校で道徳の時間に人権について考え、学習後は反省や感想をまとめます。毎年、市場祭文化の部で「学校をひらく週間」に福祉体験学習を実施します。

- 1年生 ● 高齢者疑似体験、車いす体験
- 2年生 ● 視覚障がい者の講話、手話学習
- 3年生 ● 聴覚障がい者体験(誘導・点字)

学年ごとにテーマを絞り、年齢による体の変化、障害による困りごとなどを体験や講座、学習を通じて生徒の理解を促しています。「クラスの中で隣の人を気遣い、大切にするように、まちで出会う人に目を向けるきっかけになれば」(青木智之校長)と、福祉教育を取り入れて十数年。生徒が学んだ内容は学年便り・学校便りに載せて保護者、地域の人たちに紹介しています。

生徒会福祉厚生委員会のメンバーは夏祭りなどの行事に参加し、赤い羽根共同募金で街頭に立ちます。先生も学区内の地域を担当し、行事協力や会合へ出席してまちにとけこみ、ひとのなかに入っていく工夫をしています。



「地域のなかの学校」であるために日々アイデアを練る、平山峻先生(左)と青木智之校長

「ひとのなかに入っていく」
大切さを、生徒も先生も

横浜市立 市場中学校

鶴見区知的障害児者親の会(地域訓練会)「ひよこ会」

障害があっても、ひとりの人

鶴見区知的障害児者親の会(地域訓練会)「ひよこ会」のメンバーが、県立鶴見総合高校で福祉科選択の生徒を対象に講座を始めて5年。この日は2年生8人が参加し、発達障害の特徴を学び、その不便さを体験しました。「障害はわるいことでもはずかしいことでもない、と多くの生徒に理解を深めてもらいたい」と、講師を務めた長谷山景子さん、岡田美佐さんは言います。



「ひよこ会」の岡田美佐さん(左)、長谷山景子さん。市立東高校でも講座を行っています

善意銀行寄付者 善意の寄付をありがとうございました

26年9月1日～12月31日
()内は期間内の寄付回数

金銭寄付者(敬称略・順不同)

岩澤多鶴子(4) ● 東寺尾商品開発部 ● 滝口房枝 ● 大橋洋子 ● ハーモニー音楽教室生徒一同・愛する会一同 ● 鶴見区仏教婦人会 ● 内田八江子 ● 公益社団法人神奈川県建物取引業協会横浜鶴見支部 ● 中島静江 ● おっさんネットワーク ● 中村国政 ● 特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会 ● 市場地区社会福祉協議会 ● 潮田地区センター ● 小野輝子 ● 神奈川土建一般労働組合 横浜鶴見支部 ● オール市場自治連合会・社会福祉協議会 ● 片田由美子 ● 三谷富二子 ● 横浜鶴見西ライオンズクラブ ● 小林健治 ● 旭硝子労働組合京浜支部 ● 旭硝子労働組合本部 ● 佐々木悦子 ● 佐々木淳 ● 大本山總持寺三松会 ● 鶴見コンクリート株式会社 ● 上末吉地区社会福祉協議会 ● 匿名(7)

物品寄付者(敬称略)

吉兆グループ(4) ● イトーヨーカドー鶴見店 ● 匿名(2)

寄付の方法

- ① 区社協窓口への持参(月～土 9時～17時)
 - ② 銀行振込
- * 物品寄付についてもご相談ください。
* 銀行振込いただく場合には、事前にお電話にてご一報ください。

振込先

横浜信用金庫 鶴見駅東口支店 普通042900
社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
善意銀行 伊藤 学 (イトウ マナブ)